講座

コンピュータの利用技術

Computers as Research Tools

(received 11 December 2001)

1．はじめに

「プラズマ・核融合学会誌」では，講座という枠を設けて，若手研究者のための短期集中連載を行っている．今回の企画は，コンピュータの利用技術に関するものである．

ワープロや表計算ソフトの使い方，あるいはFortran等による専門の計算の仕方については，大学で十分学ぶ機会があるが，いざ論文を書こうとすると，さまざまな問題に立ち向かわなければならない．たとえば図やグラフは，ビットマップ形式ではなく，EPS　やWMFといったベクトル形式で準備しなければならない．PDFを作る際にはフォント埋め込みのルールをマスターしなければならない複雑な数式はTeXに頼らなければならないことが多い．さらに，研究関連の情報収集・整理にコンピュータを活用できなければならない．こういったことは，コンピュータ関係の本や雑誌で学ぶことは難しい．

そこで，「プラズマ・核融合学会誌」では，実際にコンピュータを研究に生かしておられる先生方にお願いして，その奥義を誌上で伝授していただき，読者のレベルアップの契機にしたいと考えた．

幸い，「Linux Japan」誌等でも活躍されている東京電機大学の松田七美男氏，「なまず本」として評価の高い『Namazuシステムの構築と活用』(旧『日本語全文検索システムの構築と活用』）の著者でもある国立天文台の馬場　肇氏にご執筆をお願いすることができた．図らずして私も誌面を汚すことになってしまった．

また，学会誌として，Webと会誌の連携が一つのテーマになっていることもあり，執筆者の先生方には関連情報を集めたWebページの作成をお願いした．最新情報，細かなインストール方法，関連ページへのリンクなどは，各Webページ(学会Webページ http://jspf.nifs.ac.jp/からリンクされている）をご覧いただきたい．

本企画は立案から事務作業に至るまで核融合科学研究所の大舘　暁氏のアイデアと行動力に負うところが大きい．特記して感謝したい．

奥村晴彦（おくむら はるひこ）
松阪大学政策学部
主な研究分野：実験データ収集・圧縮，（核融合熱による直接発電のからみで）熱電半導体の物性・数値計算
趣味：ネットワーク管理，プログラミング，出版技術，クラシック音楽

OKUMURA Haruhiko, Matsusaka University, Matsusaka 515-8511 Japan　　*author's e-mail: okumura@matsusaka-u.ac.jp*